

紙台帳を電子化したい・・・

点検、更新計画に活用したい・・・

災害時の迅速化に役立てたい・・・

ANSWER

施設設備台帳管理システム

水道施設台帳整備業務のご提案

ANSWER

WATERS-facilities
上下水道施設設備管理システム

For Earth, For Life
Kubota

株式会社 管総研



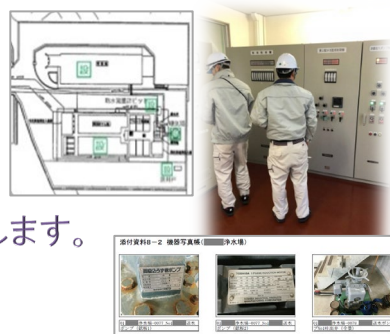
施設設備台帳管理システムを利用した台帳整備のご提案

水道法の改正により、「適切な資産管理の推進」を目的とした水道施設台帳の整備が義務規定されました。【適用開始：2022 年(令和 4 年)10 月 1 日】

水道施設台帳の整備は「紙」又は「電子システム」のいずれも可とされ、適用開始までの短い期間の中で、現地調査や台帳整備による現状整理と精度向上まで実施されたケースや、完成図書類のスキニング(電子化)までを実施したケース、更に施設管理専用システムの導入までを実現したケースもあり、整備状況は様々です。

弊社では、施設管理システムの導入を見送られている事業体様や、既に弊社システムをご利用のユーザー様を対象に、水道施設台帳の整備と維持管理上の更なる効率化や、現状からのレベルアップを目的とした各種サービスを取り揃えております。

WATERS-facilities
上下水道施設設備管理システム



管総研 施設管理ブラッシュアップメニュー (例)

施設の現地確認(明確化)

施設の現地確認(調査)し、機器台帳の見直しと精度向上をご提案します。

また、必要に応じて施設平面図や機器等の写真帳を作成します。

完成図書類の電子化

膨大な費用と労力を要する電子化業務を、目的や整理する情報の使用頻度等から優先順位を設定し、複数年による順次計画でご提案します。

機器リストのシステム化

Excelなどで作成・管理している機器台帳をシステムへ登録し、工事情報や維持管理情報と紐付けた管理(必要な情報をすぐに引き出せる管理)をご提案します。

維持管理情報の共有化

故障や不具合など、過去の問合せ情報(類似点等)をシステムで共有し、初動対応の迅速化、災害時の早期復旧を目的とした情報の登録や電子化をご提案します。

システムで整備されたデータの活用(ミクロ及びマクロマネジメント)

システムで整備されたデータを活用し、評価・検討が行える「水道施設更新シミュレーションツール」の導入をご提案します。(以下、ツール内の主な機能)

(1)設備別機能評価 : 水道施設機能診断マニュアルに準拠し、健全度を評価

(2)更新事業費検討 : 年次費用や累計費用のグラフ化と事業費の平準化

(3)LCC算定機能 : ライフサイクルコストの算定、グラフを表示

(4)データ入出力機能 : シミュレーション結果はシステム取込やExcel出力が可能

その他、ご要望・ご相談等

施設管理、台帳整備に関して、ご相談内容に応じたご提案や実績に基づいた業務実施事例をご紹介します。

施設設備台帳管理システムの基本機能とマッピング連携オプション

WATERS-facilities
上下水道施設設備管理システム

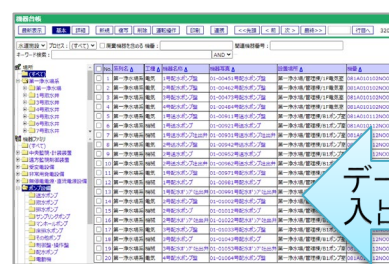
基本機能



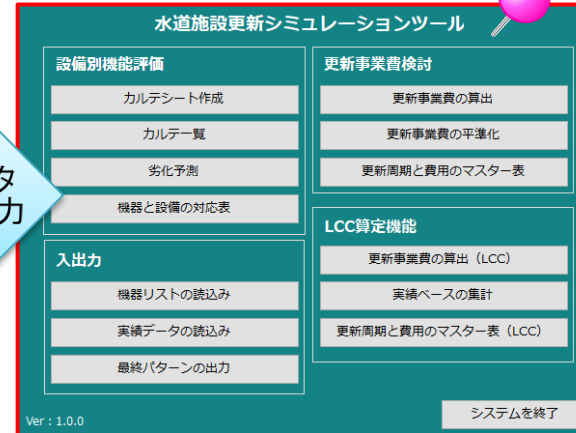
マッピング連携オプション



水道施設更新シミュレーションツール

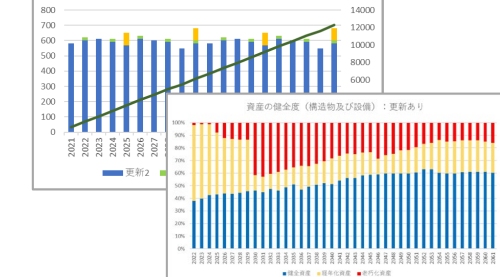


WATERS-facilities
上下水道施設設備管理システム



各設備の健全度評価

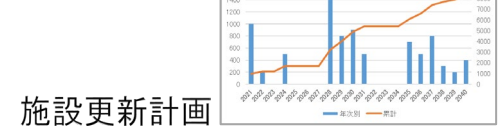
ライフサイクルコストの推移



事業費の健全度



更新計画(パターン1)



施設更新計画

将来の劣化予測